

第3回 東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設処理方式検討委員会 会議録

<開催日時>

平成30年8月7日(金)午前10時00分から午後0時30分まで

<開催場所>

東金市外三市町清掃組合2階小会議室

<出席者>

○新ごみ処理施設処理方式検討委員会

荒井委員長

出口副委員長

藤原委員

○事務局

東金市外三市町清掃組合

二井事務局長、小川総務課長、片岡計画係長、根本主査、日暮副主査、谷川主任主事、北田主事

○パンフィックコンサルタンツ株式会社

米田技師、篠木技師、本庄技師

<会議内容>

1. 開会

2. 議事

(1) 一次選定

(2) 二次選定評価項目の検討

(3) メーカーアンケート調査内容（ヒアリング項目）の検討

(4) 二次選定審査方法の検討

3. その他

4. 閉会

<議事概要>

2. 議事

(1) 一次選定

・一次選定を実施した結果、焼却施設のストーカ式、流動床式、ガス化施設のシャフト式、流動床式、焼却+灰溶融施設のストーカ+灰溶融、流動床+灰溶融、ごみメタン化+焼却施設の7方式が選定された。

(2) 二次選定評価項目の検討

・評価項目案に対して複数の修正の指摘を受けた為、指摘事項を反映させた資料を作成し、次回の委員会にて再度審議することとなった。

(3) メーカーアンケート調査内容（ヒアリング項目）の検討

・メーカーアンケート調査内容の前提となる二次選定評価項目の内容を再度審議することとなった為、本議題についても次回の委員会にて審議することとなった。

(4) 二次選定審査方法の検討

・各評価項目への重要度及び配点の配分について見直しの指摘を受け、次回の委員会にて再度ご審議いただくこととなった。また、得点の付与方法及び審議方法について審議を行った結果、5段階評価にて評価を行い、合議方式にて審議を行うこととなった。

【以下主な質疑・意見】

(1) 一次選定

<委員> シャフト式にはコークスベット式、酸素式のどちらも含まれるということか。

<事務局> 含んでおります。

<委員> 「ほぼ」、「多くの実績」等の曖昧な表現がいくつかある為、事実だけを書けば良いと思う。

<委員> ③近年の動向における記載内容と①本組合のごみ質における評価はもう少しメリハリをつけた方が良いと考える。

<事務局> 了解しました。

<委員> 一次選定を実施する。

(1) ごみ焼却施設(ストーカ式)について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は○とし、判定は○とする。

(1) ごみ焼却施設(流動床式)について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は1件の為×とするが、ご意見はどうか。

<委員> 従来の流動床式焼却炉を進化させた焼却施設の流動床式があり、実証実験も行われていることから、検討対象に残して良いと思う。

<委員> それでは流動床式の判定は○とする。

(2) ガス化溶融施設(シャフト式)について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は○とし、判定は○とする。

(2) ガス化溶融施設(流動床式)について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は○とし、判定は○とする。

(2) ガス化溶融施設(キルン式)について、①本組合のごみ質は×の方が良いと思う。②想定施設規模は○、③近年の動向は×とし、×が2つあり、また、近年の動向を考慮して、判定は×とする。

(3) ガス化改質施設について、①本組合のごみ質は×の方が良いと思う。②想定施設規模は○、③近年の動向は×とし、キルン式と同様に、判定は×とする。

(4) 焼却+灰溶融施設(ストーカ+灰溶融)について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は○とし、判定は○とする。

(4) 焼却+灰溶融施設(流動床+灰溶融)について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は×とするが、次世代流動床の件も考慮し、判定は○とする。

(5) ごみ固形燃料化施設について、①本組合のごみ質は×、②想定施設規模は○、③近年の動向は○とするが、本組合のごみ質への対応は×であることから、判定は×とする。

(6) 炭化施設について、①本組合のごみ質は×、②想定施設規模は×、③近年の動向は○とするが、本組合のごみ質への対応は×であることから、判定は×とする。

(7) ごみメタン化施設について、①本組合のごみ質は×、②想定施設規模は×、③近年の動向は○とするが、本組合のごみ質への対応は×であることから、判定は×とする。

(7) ごみメタン化施設+焼却施設について、①本組合のごみ質は○、②想定施設規模は○、③近年の動向は○とし、判定は○とする。

以上より、焼却施設のストーカ式、流動床式、ガス化施設のシャフト式、流動床式、焼却+灰溶融施設のストーカ+灰溶融、流動床+灰溶融、ごみメタン化+焼却施設の7方式を選定する。

(2) 二次選定評価項目の検討

<委員> 「安全性・信頼性に優れた方式」の信頼性とは、安定継続性を含めた全体の信頼性と考えるよろしいか。

<事務局> ご理解のとおりです。

<委員> 「資源回収量の大小」は、リサイクル施設であればわかるのですが、可燃ごみの処理処分では、あまり資源回収といった言い方はしないと思う。

<委員> 「高効率ごみ発電施設の建設実績数の大小」もメーカー別にすると、シャフト式は1社で30~40施設がでてくるが、ストーカなら4、5社になり、1社あたりの施設は少なくなる為、そういった部分の評価方法も決めておかないといけないと思う。

<委員> 「施設・炉体の耐震性能の大小」は、環境省のガイドライン及び建築基準法にあわせて作るのが基本的なスタンスなので、注意喚起の意味でヒアリング項目とする方法もあるかと思うが、評価での差は出ないと考える。

<委員> 評価項目について複数の意見が挙げたことから、内容再度検討する必要があると思う。

<事務局> 資料の見直しを行い、次回の委員会において再度ご審議をいただきたいと思います。

(3) メーカーアンケート調査内容(ヒアリング項目)の検討

<事務局> ヒアリングにつきましては評価項目にそった形でヒアリングを検討していますので、評価項目自体が継続審議となりましたことから、そ

ちらを整理し、合わせて審議していただきたいと考えておりますので、議事(3)に関しましては継続審議とさせていただきたいと思っております。

<委員> 了解した。

(4) 二次選定審査方法の検討

<委員> 配点の重み付けの部分で、「③ライフサイクルコストが優れている方式」が最重要項目となっているが、今回の概算見積の金額で定量的に評価できるのかといった部分を疑問に感じている。

財政負担の提言の観点から、重要な事項であるとは理解しているが、今後、事業方式がDBO方式等になった場合にも価格は変動すると思われる。処理方式の選定の段階であるので、概算でも良い部分があるかもしれないが、差がつきにくい項目の配点が高いのはどうなのかと思う。

<委員> 価格については、それぞれ営業戦略があることから、アンケートにおける概算費用は、実際の入札価格とは異なる可能性があるため、なかなか評価は難しいと思う。

<委員> 組合の方針として、コスト重視とし、最重要項目を設定することは良いと考えるが、そういった実情があることもご理解いただきたいと思う。

<委員> 最終的に、何点以上であれば処理方式として残すといったことは決めているのか。

<事務局> 二次選定の評価基準なので、残す、残さないよりも順位付けを考えています。

委員の皆様から色々のご意見を頂戴しましたことから、評価項目については継続審議とさせていただければと思います。

<委員> 得点の付与方法について、ご意見はいかがか。

<委員> 3段階の場合はAとCはつけにくい為、ほとんど評価がBとなり評価に差がつきにくいと考える、その為、5段階評価のほうが差がつくのではないかと思う。

<委員> それでは、得点の付与方法については5段階評価とする。

<委員> 審議方法は委員数が3名と少ない為、合議方式でよいと思うが、いかがか。

<委員> 異議なし。

<委員> それでは、審議方法については合議方式とする。

3. その他

・他団体への視察について、焼却施設のストーカ式及び流動床式を視察し、かつ、別途灰溶融設備を視察することで、焼却+灰溶融施設のストーカ+灰溶融方式、流動床+灰溶融方式の確認も併せて行うものとする。

4. 閉会